

第八十卷 第十二号 目次

加藤久雄教授退職記念号

ドイツ電気通信法制の変遷とユニバーサルサービス 青木淳一

一九世紀中期・ドイツ普通法学における法諺《代価は物の地位を襲い物は代価の地位を襲う》について 水津太郎
 —キールフの反論とヴェヒターの検討を中心として—

序 国分良成

多額の借財のような重要事項に関する取締役会の決議 加藤修

「人」の始期について
 —「独立生存可能性説」再論— 伊東研祐

日本の訴訟終了宣言について 坂原正夫

教唆犯の故意と錯誤をめぐる 川端博

ワイマール共和国における時間意識の変化 蔭山宏

イギリスの人体組織法と刑事規制
 —いわゆる「DNA窃盗」を中心に— 甲斐克則

「留置権競売」考 斎藤和夫
 —民執法一九五条の根本問題の検討—

イギリス犯罪学の成立と展開
 —三人の大陸系巨匠の貢献— 守山正

伝染病予防法までの道のり
 —医療・衛生行政の変転— 笠原英彦

ドイツにおける社会治療処遇の展開と課題
 —ドイツ行刑施設等の参観から見えるもの— 安部哲夫

陰画としての国家 小山剛

地域社会を基盤とする非行防止活動の
効果について

―社会参加活動を中心に―

小林 寿一

暴力犯罪者・性犯罪者の再犯リスク評
価に関するスイスの議論状況

神馬 幸一

マス・バイオレンス（集団への暴力）
被害への精神的支援

小西 聖子

競争法の域外適用に伴う国際的執行の
現代的課題
―管轄権の抵触とその調整原理としての国
際礼让の規範化―

伊 永 大 輔

比較刑法に関する一考察

末道 康之

二〇〇〇年「少年法改正」をめぐる新
聞報道と世論形成

―新聞報道の熟慮誘発機能の視点から―

小川 恒夫

加藤久雄教授略歴・主要業績

台湾における取調べ規制及び関連供述
の評価

黄 朝 義

ソフトローの取り扱いに関する問題点

―異状死とSIDSに関連して―

澤 口 聡 子

診療録と医療の質

岡村 敏 弘

犯罪被害者の法的地位

―スウェーデンの被害者弁護人制度を中心
に―

矢野 恵 美